



# KUMAMOTO GREEN Rotary-Club bulletin



2014-  
2015年度  
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーに輝きを」 R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
- 地区方針 「ロータリーを学び直し 新たな第一歩を踏みだそう」 R.I. 2720 地区 ガバナー 小山 康直
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーを知ろう」 熊本グリーンR.C. 会長 田中 純司

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中 純司 ■幹事：蒼 孝之 ■会報担当：長野 義文  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@io.ocn.ne.jp

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2014年7月14日】

第1139回

2014-2015年度 第2回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング  
「我等の生業」

友情の握手

会長スピーチ (田中 純司 会長)

みなさんこんにちはやっつと2回目の挨拶です。先週はRI 及び地区のテーマ・活動方針のお話をしました。国際ロータリー会長のゲイリーCKホアン氏の「ロータリーに輝きを」と第2720 地区のテーマは「ロータリーを学び直し、新たな第一歩を踏み出そう」は覚えていらっしゃると思います。

今週は「ロータリーの誕生」についてお話しいと思います。多分、ほとんどの皆さんは、ご周知のことでしょうが、はじめの一歩としてお聞き下さい。

その前に、今日挨拶頂きます6常任委員長の皆様、宜しくお願ひします。また、昨日熊本東ロータリークラブの50周年記念式典にご出席いただきました皆様にはお礼申し上げます。お疲れ様でした。

それでは、「ロータリーの誕生」についてです。

【ロータリーの誕生】

【Point 早読み】以下の文章には、こんなことが書

いてあります。

①1905年2月23日にポール・P・ハリスと3人の友人と語らった会合がRC の誕生。

②ロータリーの名称は、持ち回りで会員の会社で会合を行ったことが由来。

③拡大を続けたRCは1922年に「国際ロータリー」と呼ばれるようになった。

1905年(明治38年) そのころ経済恐慌で人心の荒んでいたアメリカ社会。特にシカゴの状態を憂いた青年弁護士ポール・P・ハリスが3人の友人と語らって、2月23日第1回の会合を開いたのがロータリー・クラブ(以下RC)の誕生です。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。1908年には、サンフランシスコ、次いでカナダ、イギリスへと国際的に広がり、1922年には「国際ロータリー」(以下RI)と呼ばれるに至りました。その後も着実に成長し、現在200以上の国と地域に広められ531地区、クラブ数34,578、会員総数1,185,074人(2013年7月1日現在)に達しています。これらクラブをメンバーとしてRI が構成されています。

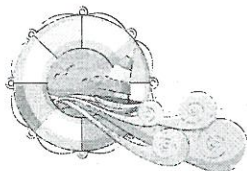
▼日本のロータリーの誕生

【Point早読み】以下の文章には、こんなことが書いてあります。

①日本で初めてのRCを設立したのは、三井銀行の米山梅吉氏(米山奨学会創設者)

②会員は、実業家や専門職業人から1業種3人を選びクラブ構成を行った。

日本人で最初のロータリアンとなったのは、佐賀県有田生まれの福島喜三次で、三井物産系



卓話  
予定

- 7/28 支援事業報告「華友会(中国帰国者の為の日本語教室)」事業報告
- 8/4 奉仕プロジェクト委員会活動のクラブフォーラム
- 8/11 例会取り止め(定款第6条第1節に基づき)
- 8/18 会員卓話「世界一周クルーズについて」葉 高源 会員
- 8/25 第3回クラブ協議会(松本孝一郎ガバナー補佐訪問)★ 20:30 迄例会延長

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

のアメリカ子会社の社長としてダラスのクラブに所属していました。我が国のRCは、1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏で、855番目のクラブとして加盟承認されました。その後、第2次世界大戦の結果、一時RIからの脱退を余儀なくされましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に努め、その神髓と組織を維持し、戦後RIに復帰するや、ますます発展、現在では北海道から沖縄まで、34地区、クラブ数2,283、会員数88,493人(2014年4月末現在)に達し、すべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けています。会員は、地域内の理想に燃える堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種3人を選び、週1回のクラブ例会によって各種職域人の交友を通じて地域社会へのよりよい多くの機会を得ようと図っています。

次回は、“ロータリーの精神”“ロータリー活動とは”についてお話しする予定です。

### 幹事報告 (山下 佳介 元会長)

#### ■ 例会取止め・変更

##### <取止め>

次の例会は、クラブ定款第6条第1節に基づき、取りやめます。

【熊本西稜RC】 8月11日(月)

### 出席報告

(河島 一夫 会員)

	会員総数	26名	出席率
7月14日	出席免除会員数	0名	61.54%
	計算上会員数	26名	
	出席会員数	16名	
6月30日	前回の出席会員数	15名	75.00%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
6/25	熊本平成RC 上田 君		
6/18	熊本水前寺公園RC 趙 君		
7/10	熊本北RC 中島 君		

### 委員会報告

#### ①会員3分間スピーチ

報告者:松山 優喜会員



半年以上ぶりにお逢いする松山会員より近況報告

#### ②サツマイモの手入れ(草取り)

報告者:松村秀逸農業委員

7月19日(土)早朝6時~8時迄の約2時間グリーンRC農園のサツマイモの手入れを行います。草が苗に覆い被さって来ているので、草刈りをしないと、苗が育ちません。時間に都合がつく方はお手伝いをお願い致します。\*草取りがま、軍手、長靴、特に暑いので各自飲み物は自分で準備の方をお願い致します。

### スマイル (松村 秀逸 クラブ管理運営委員)

#### ●田中 純司 君

「昨日の熊本東RCの創立50周年記念式典にご出席の皆様お疲れ様でした。又、6常任委員長の皆様、就任挨拶宜しくお願い致します。」

#### ●松山 優喜 君

「長らくご無沙汰して誠に申し訳ございません。いろいろありましたが、何と月1回でも顔を出すつもりです。宜しくお願いします。」

#### ●本田 悟士 君

「山下前会長、河島前幹事と新執行部の皆様、そして久々に通常例会に参加して皆様にお会い出来たことにスマイルします。」

#### ●河島 一夫 君

「ワールドカップサッカーはドイツが優勝しましたが、世界の一流プレーヤーでもなかなか点数が入らないものだなと早朝から見っていました。台風も何事もなくスマイルします。」

#### ●上田 観一 君

「念願でありました東京事務所を沢山の方々のご協力で、7月1日にスタート致しました。私は月に数回上京しますので、RCにご迷惑がかかるかと思いますが宜しくお願い致します。」

#### ●葉 高源 君、趙 健次 君、松村 秀逸 君

#### 栗山 義則 君

「松山会員の久し振りの出席を歓迎しスマイル致します。」

### 3. 例会プログラム

## 「6 常任委員長 就任挨拶」

#### ①クラブ管理運営委員会

中島 光司委員長

(代理：河島 一夫副委員長)

#### ②クラブ広報委員会

石浦 順一委員長 (ご欠席)

#### ③会員増強委員会

山下 隆生委員長

#### ④奉仕プロジェクト委員会

仙波 洋八委員長

#### ⑤青少年奉仕委員会

本田 悟士委員長

#### ⑥ロータリー財団委員会

栗山 義則委員長

-----  
①クラブ管理委員会

中島 光司委員長

(代理：河島 一夫副委員長)

本年度のクラブ管理運営委員会のメンバーは11



名です。少ない人数で6つの担当をする関係で各担当には、複数名の会員に入ってもらいました。そうする事により担当長の欠席等の時、発表者をスムーズに選択出来るメリットもあると思っています。

委員会11名で力を合わせ、クラブ管理運営委員会の

仕事を進めていきます。

特に、今年度力を入れていきたい事は出席率のアップです。昨年度は、一度もファンファーレを聞く事も無く残念な結果に終わってしまいましたが、今年度は、メイクアップの呼びかけを強化し、会員各位の意識向上を促していきたいと思

います。プログラムに関しましては、河島会員のお力を借りながら進めていますが、ほぼプログラムは埋まった状態です。聞きたい卓話者の方がいらっしゃいましたらプログラム委員会迄ご連絡をお願いします。

最後になりましたが親睦委員会ですが、山下(佳)担当長と共に皆が参加しやすい趣向を考えながら進めていきます。会員の皆様のご協力を心よりお願いして、クラブ管理運営委員会の指針と致します。

#### ③会員増強委員会

山下 隆生委員長



今年度、会員増強委員長に任命されました山下です。本年度は、当初の目的年度末会員30名退会者0名を目指して頑張りたいと思います。

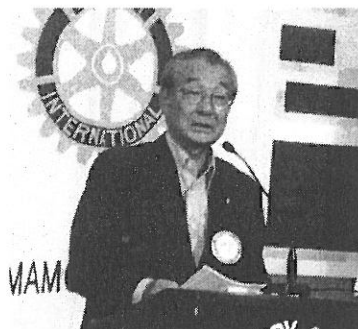
早速8月は、会員増強月間ではありますが、

プログラムの都合上、フォーラムを開ける時間がとれませんでした。新年度最初の月間が、会員増強という事でロータリークラブの中では最重要な課題だという事がわかります。すでに会員増強委員会のセミナーが6月の行われ、委員長の私と、田中会長とで参加してまいりました。その時、学んだ事より、通達で「8月は会員増強月間及び拡大月間となります。各クラブの皆様も色々な事業が詰まっていると思いますが、その時、セミナーでお渡し致しました「会員増強維持セミナー」DVDを例会時間に合わせて戴き、視聴載ければ」と言うお願いがまいっております。毎年のフォーラムでの成果ではなかなか実績が伴わない今、原点に戻り2720地区全体の方向性や方針、増強方法なども参考にすることも必要だと思

います。8月には新会員さんのためのわかりやすいマニュアル冊子の配布も検討されるようなので、今年度のスローガン「ロータリーを学び直し、新たな第一歩を踏み出そう」に沿って会員増強を目指し、年度末には目標を達成したいと思います。

#### ④奉仕プロジェクト委員会

仙波 洋八委員長



(1) 本年度活動計画と主要目標

社会奉仕活動の「柱」となるプロジェクトを『いいこと応援プロジェクト』としました。

具体的には予算終了まで常時案

件を募集し、クラブ・フォーラムや理事会、協議会等をへて実行に移す方式とします。  
尚、2013年度をもって終了及び終了予定の活動は下記3件です。

①中国残留孤児に対する、日本語教室「華友会」支援  
(毎週回す募金箱による特別会計にて年間200,000 円)

②テコンドー協会への活動支援  
(スマイル会計より200,000 円×3年)

③ホテル保護育成支援  
(スマイル会計にて50,000 円×2年、100,000 円×1年、50,000 円×1年)

また、地区ブライダル活動への参加を強化する為に、松村秀逸会員を奉仕プロジェクト委員に任命し、専任担当をしてもらうことになりました。又、農業委員会は親睦委員会所属としていましたが、「ロータリーの友」掲載を期に、社会奉仕の位置づけを加え、奉仕と親睦を兼ねることとします。職業奉仕は、具体的には工事現場などの職場訪問になると思われませんが、引き続き検討してまいります。

## (2) 『いいこと応援プロジェクト』とは

\* 主旨:世の為、人の為になると思われる全ての活動に対する支援。

(障がい者・施設・文化芸術・スポーツ・地域起しなど全てのジャンルに対して、寄付、賞金、広告、お手伝いその他を提供)

\* クラブとしての目的:①全員参加意識の醸成

②財政、対処能力への配慮

③時代背景への対応(多様化対策、広範囲広報)

内容:①年間予算:500,000円

(本会計予算30万、募金箱収入20万:過去3年間の実績)

②原則として:1件100,000円×5件

③募集方法:熊本グリーンRC会員とその家族からの持ち込み

④支援期間:全て単年度事業とするが、数年継続もあり得る。

⑤実施採用決定:その都度クラブ全員で協議して決定する。計画予算にした時点でその年度は〆切りとする。

⑥農業委員会の予算をどう扱うか検討。

(1) 年間予算

・運営費 30,000円 (家庭集会 2回)

・事業費・職場訪問(バスチャーター代等)100,000円

・ブライダル委員会協力 20,000円

・『いいこと応援プロジェクト』500,000円(10万×5件)

## ⑥青少年奉仕委員会 本田 悟士委員長



### (1) 本年度活動計画と主要目標

社会奉仕活動の「柱」となるプロジェクトを『いいこと応援プロジェクト』としました。

具体的には予算終了まで常時案件を募集し、クラブ・フォーラムや理事会、協議会等をへて実行に移す方式とします。

尚、2013年度をもって終了及び終了予定の活動は下記3件です。

## 青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員会です。

今年は私が委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。副委員長に山下佳介会員、委員に十時義七郎会員、奥村敏之会員を擁しております。今年度の活動計画と主要目標としては、引き続きローターアクト支援・活動サポートを中心に行うことを掲げ、円滑な支援に留まらず、ロータリーとローターアクトとの実質的な交流を深め、互いに得るもののある親子クラブ関係の醸成をすすめたいと考えております。

具体的には、アクト会員の自然減後の会員に倍する会員達成を目指すほか、ロータリアンの例会参加推奨(最低各人1回は、ロータリアンの例会参加をお願いします。アクトの皆さんも他の親クラブとグリーンは違うと言ってよるこび誇りに思ってくれているように感じました)、ロータリアンの出張卓話等を実施したいと考えております。

出張卓話については、年2回程度をめどに調整中です。また、一定の社会問題・課題等に対する意見交換やディスカッション、ローターアクトからロータリアンに対する問いかけ等の機会を設けるという冒険的な試みも協議しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### ⑥ロータリー財団委員会 栗山 義則委員長



本年度は米山奨学生を引き受けていないので、まずロータリー財団の仕組みと寄付及び意義について知ってもらう活動をしたい。又、奉仕プロジェクト委員会の活動に補助金を利用することを考えてもらいたい。又、特別寄付について、セミナーの時に増額するよう言われますので、財団月間の時にスマイル箱にて1人1,000円でも今年度寄付を集めたいと思っています。

#### 4. 閉会・点鐘



### ROTARY LEADER ロータリーリーダー

#### [わたしたちの財団] リーダーからはじめよう

「世界でよいこと」を行う財団の活動を支えるために

ロン・バートン2013-14年度会長は、2013年国際協議会に先立って当時のガバナーエレクトにあるチャレンジを呼びかけました。「ファーストクラス」のチャレンジと呼ばれるこの取り組みは、ガバナーエレクト全員がロータリー財団に寄付をして、リーダーとして率先して財団を支援し、模範を示そうというものです。チャレンジは見事成功し、537名のガバナーエレクト全員が参加しました。

翌年の国際協議会では、ゲイリーC.K.ホアン2014-15年度会長が前年度の成功を受け継ぎ、「ベストクラス」と名づけた取り組みを実施。ここでも100%の参加率を達成できました。この取り組みを地元でも実施したブラジルでは、第4510地区(ブラジル)の2013-14年度ガバナー、リカルド・デ・マイオ・メルメージョさんが、クラブ会長、ローターアクトクラブ会長、インターアクトクラブ会長に同様のチャレンジ参加を呼びかけ、3月末までに財団への寄付35,000ドルを集めることに成功しました。「一番大切なのは、寄付だけではなく、こうした取り組みを通じて地区の会員にロータリー財団をもっと知ってもらうこと。そして、財団プログラムや補助金による活動成果を理解し、支援の必要性を実感してもらうことです」

「ベストクラス」の取り組みに加え、今年度、ホアン会長は次のような方法で財団を支援するよう呼びかけています

(これらは2014-15年度会長賞の要件となっています)。

-地元または海外で、少なくとも1つのロータリー重点分野に関連する奉仕プロジェクトに参加する。  
-ロータリークラブ・セントラルに2014-15年度の財団寄付目標を入力し、その目標を達成する。

-会員の最低10%がロータリーの定期寄付プログラムに登録する

-。地域社会での募金を通じてポリオ撲滅を支援する。または、ポリオ撲滅におけるロータリーの活動を伝えることを目的とした認識向上キャンペーンを実施する。

-ロータリー平和フェローを推薦する。または、ロータリー平和フェローを支援する他のクラブ

〔最優先事項〕 東南アジアがポリオフリーに

## これを足がかりに、世界からポリオを撲滅しよう

今年3月、世界保健機関(WHO)により東南アジア地域が「ポリオフリー(ポリオのない地域)」となったことが公式に宣言され、ポリオのない世界の実現を目指すロータリーのポリオ撲滅活動において、歴史的な快挙が成し遂げられました。この地域には11カ国が含まれ、その人口は18億人以上。これは、世界人口の約25パーセントに当たります。

かつてインドは、ポリオの撲滅が最も困難な国とされていました。しかし、2011年1月13日から3年間、ポリオ症例が1件も報告されなかったことにより、東南アジア地域全体での撲滅が認定されることになりました。スリランカ、モルジブ、ブータンなどを含む周辺諸国は、はるか以前にポリオフリーとなっており、今回の認定を15年間も待ち続けました。

「政府、NGO、地域社会、国際パートナー団体とともに、ポリオ撲滅活動に取り組んできた何百万人もの保健従事者にとって、今回の達成は歴史的な勝利」と話すのは、WHOの東南アジア地域を担当するプーナム・ケトラパル・シン博士です。「力を合わせれば、未来の子どもたちに大きな遺産を残すことができるのです」

世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)のこれからの課題は、ポリオ感染が今でも恒常的に続いている3カ国(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)で、ポリオを撲滅することです。また近年、中東と東アフリカで突発的なポリオ感染が報告されており、ポリオのなくなった国でも再び感染が広がる恐れがあります。

私たちは、これまでの活動を足がかりに、全世界でのポリオ撲滅を目指して全力を注いでいく必要があります。東南アジアにおける今回のニュースを広め、撲滅活動の現状を多くの人に伝えてください。

特に、インドを含む多くの国では、予防接種を推進するために、宗教指導者との協力関係を築くことが極めて重要となります。また、医療キャンプを実施すれば、ポリオやはしかの予防接種だけでなく、ビタミンA剤や薬の提供、健康診断などの医療ケアを無料で提供することも可能になります。

### 撲滅支援のアイデア:

- ①全国予防接種日の活動に参加し、政府と協力して遠隔地の子どもに予防接種を行う。東南アジア地域では、このような活動が積極的に行われました。
- ②ポリオ撲滅のメッセージを伝える“声”となって、政府に支援を呼びかけ、地元議員をロータリーの行事に招待する。
- ③ポリオ撲滅活動の進展と緊急の課題について、地区内の全会員に伝え、支援を促す。6月末に終了が予定されている「世界最大のCM」キャンペーンには、10万人を超えるサポーターがポリオ撲滅を応援する写真をアップロードしました。メッセージを広げるためのリソースは、ポリオ撲滅応援サイトからご覧いただけます。
- ④撲滅活動に寄付する

予防接種を受ける子ども(ネパール)

